
YUIが悪と闘ったら 過去篇 5

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら 過去篇5

【Nコード】

N4633Y

【作者名】

pokemonmayan

【あらすじ】

悪党どもが、会談をすることになる。

過去の過去の過去。(前書き)

感想は長めに書いてね。

過去の過去の過去。

糟屋郡事件を起こす犯人の主犯が現れようとしていた。山口県の下関ではおびただしい数の軍隊や軍船が集まりとある下関にあるかつては、日本の初代の内閣総理大臣の伊藤博文が来ていた老舗のフグ料理屋に我が国で失態を起こして国民から反感を喰らい支持率を下げた元総理の二人が料亭の個室に通された。

自民党議員 A（元首相のお二人が到着されました！どうぞ、此方に）居間に二人の元首相が入った。

村山富市（ワシは）神戸の阪神淡路大震災で失態ばかりをして）国民から、反感を買い）総理の職を降ろされたのじゃ）。ワシにはこんな震災は初めての事じゃから）国民なぞ何人死んでも構わんけど、70 過ぎのお年寄りに大変じゃったの）とか協力してくれなかったとは。日本人は冷たくなったの）。

細川元首相（コレコレ。・まろは日本の戦国武将で室町時代からの由緒正しきお家柄の、細川忠興の子孫でありまた、戦時中では近衛文麿の孫にあたる名家の人間ぞ笑。芸者の女子よもそつと近こう寄れ笑。）細川は酒を飲みながら、芸者の女の着物の裾に右手を入れて、撫でるように胸を揉みだした。

芸者 A（あらあら。・笑。細川様。お戯れが過ぎますよ笑。すっけべ）笑。）

芸者 B、芸者 C（きやはははは笑。）

細川（良いではないか笑。まろは若き女子がこの上なく好きじゃ笑。可愛いのに可愛いのに笑。胸も中々の。・大きさではないか笑。たわなに実っておるでう。・7 ぽ）そかわかわかわ笑。）細川は日本酒を飲んでもう一人の芸者 B につがせた。

芸者 A（やだあ笑。細川様。本当にお戯れが過ぎますよ笑。今宵は私が。・細川様の枕で寝るのですからあまり酔われると。・意識がのうなりますよ笑。）

細川（ほゝそかわかわかわ笑。 まろはその点は控えておるでう・・笑。 今宵は楽しみじやゝ笑。） 細川は扇子を出して、自身をあおつた。

芸者達（やつだゝ笑。）

細川＆芸者（あはははは笑。） 黙っていた村山が話し出した。

村山（細川さん・・ワシは社民党から総理になって・・この国の事は何も出来なかったし、アンタも国会のストレスで世はお腹が痛いし歯が痛いのじやって言つて、10か月で総理を辞任して政治家も辞めて陶芸家になったみたいじゃが・・総理はワシ等と呼んで何をするんじやろうのう・・ワシには初めての事じゃから、分からんでのう？） 村山は首を傾げた。

細川（まろは存ぜぬが・・日本新党から総理になり・・やがて党は分裂・・主力は我が迷友・小沢一郎に託したし松下塾の後輩の野田佳彦君に任せておじやるから、大丈夫じゃ！）

村山（ワシも面倒くさいから笑。 社民党は福島君に任せて今は、可愛い孫と遊んでおる。）

細川（政治家の任務は・・責任回避と笑！）

村山（現実逃避ですのう笑！）

細川＆村山（ほゝそかわかわかわ笑！むゝらやまやまやま笑。） 二人がアホ話をしていると自民党議員が入って来た。 あの男だった。

谷垣禎一（良く来たな貴様等・・怒。 そろいもそろつて、これ程までゴミ屑のアホ顔がそろつたものだ・・怒。） 谷垣は静かに怒り目をギラツカセながら笑い、眼鏡を手の甲であげた。

細川＆村山（げげー叫！た・谷垣・・叫。） 二人は震えだした。

谷垣（ふん！まあ良い。 貴様等にはある事を頼みたくて、総理が・・直々にお会いしたいと言つておられる・・怒。 貴様等も謹んでお答えしろ。）

細川＆村山（ははー！恐悦至極に損じ奉りまする叫！） 二人は冷や汗をかいた。

谷垣（其れでは・・・来てもらいましょう。総理！来てください！）すると、部屋の照明が暗くなり、中央広間の下がいきなり開いて、その部分だけライトが照らされた。

細川（く・来るのか・・・あの方が・・・）何故か音楽でS M A Pの青い稲妻が流れだし、下から笑い声を出しながらその男が上がってきた。

？（ハハハハハハ笑！ハハハハハハ笑！）その男は背広を着てその上に黒いマントをかけていた。

細川＆村山（き・来たー叫！）

橋本龍太郎（はゝしししし笑！俺様は内閣総理大臣叫！自分の事を第一に考え、自分自身が一番イケメンで頭もキレると自負し・・・消費税も3%から5%にまで上げて、政治家のポケットマネーを第一に考えるその名も・・・天を駆ける龍の如く！橋本龍太郎様だー叫！はゝししししし笑！）橋本は上を見上げて高笑いをした。右肩には、大きい色鮮やかなオウムのペットの龍ちゃんがいた。龍ちゃん（くちゅくちゅ・・・しょ・消費税を3から5に上げるだなんて・・・橋本さんは何て凄いんだ！頭もキレる、いけめん・・・オールバツク！す・すごいじょーくわくわく叫！）龍ちゃんはしゃべった。

橋本龍太郎（はゝししししし笑！俺様は凄いんだ笑！）

村山（あの・・・橋本様。ペットのオウムが貴方の右肩のマントに白い糞を垂らして・・・貴方のマントが汚れているのですが・・・大丈夫ですか？）

橋本龍太郎（村山・・・怒。貴様！俺様の龍ちゃんに向かって何を言ってるんだ怒！この長眉毛の爺が怒叫！）橋本は怒って村山の頭を拳で殴った。

村山（ぎゃゝ年寄りに対して何をするんじやゝ泣。ワシはこんなに殴られたの初めての事じやから分らんわいゝ泣。うわゝん泣。し・震災より恐ろしい泣。）

細川（其れで、総理・・・まる達は何をすれば良いのじゃ？）橋本は

怒りながら座って酒を飲んだ。

橋本龍太郎（ああん怒！お前等がする事はだな・怒。俺様の消費税増税を聞き入れん、糟屋郡や熊本県といった、九州の奴等を黙らすためだ怒！その為には、小さいが根強く消費税の増税に反発する糟屋郡を血祭りに挙げて、糟屋郡の奴等も虐殺をして九州を従わせるんだ怒叫！）橋本は怒鳴り散らしながら、机を叩いて叫んだ。

細川（ほゝそかわかわかわ笑。確かに妙案じゃ。そこで我が細川家の財力を使つて、陸は細川軍1万5千が包囲するんじゃない笑。そうじゃろうと思つて、まろは1週間前から山中に兵を配してきずかれず糟屋郡を包囲してるでおじやる笑。）細川は目を細めて、狡猾に笑った。橋本もつられにやにや笑った。

橋本龍太郎（はゝしししし笑。本当におめえはういう所が手回しが良いよな・笑。そういう所だけで後は、お頭は良くねえがな笑。はゝしししし笑。）橋本はビールを一気飲みし、細川は背広のポケットの中に怒りの握りこぶしを隠した。

村山（あの・ワシは初めての事じゃからゝ何も分からんが、ワシも社民党の軍を下関に集めた。ざつと、2千弱じゃが・ワシが表舞台に帰れるんじゃないやたらゝ保身の為なら何でもワシはやる笑。）

橋本龍太郎（おお！その位で良いぞ 俺様の自民党の軍はざつと、3万5千だトータル・5万2千か・役不足かんはあるが・まあ、糟屋郡一帯を攻め滅ぼして・ぎつたぎたのめつためたにするには造作もねえな笑。所で・貴様等には俺様から・美味しいケーキを用意したぜ笑！受け取つてくれや！）橋本はニヤニヤ笑いながら、パンパンと手を打った。すると、女将が紫色の風呂敷を持ってきて机の中央に置いた。

細川&村山（こ・此れは何でしょうか？ケーキにしては・・？）

橋本龍太郎（はゝしししし笑。まあ、開けてみるや笑。）橋本は日本酒を芸者に注いでもらい、一気飲みをして煙草のパラメントのメンソールに火を点けて煙を吐いた。

細川（なあなな・何と此れは叫！）

村山（ワシはこのような額の・・・いやお菓子を受け取るのは初めての事じゃから驚！）其処には、普通の額を超える札束（献金）が積まれていた。

谷垣（更に・・・まだまだこの黒い鞆の中には、お菓子の束が・・・）
谷垣は手の甲で眼鏡を上げて2人に見せた。細川と村山はごくりと音を立てて唾を飲んだ。

橋本龍太郎（はゝしししししし笑！俺様は裕福なボンボンの家に育った叫！俺様の家柄はパパは豊田の重役・・・ママの親戚筋は、かつての高知県土佐藩の藩主！山内容堂の直系の親戚筋だ笑！はゝしししし笑。しかも、俺様の弟は高知県の県知事（今もそう。）だから、実質！俺様は上土のご身分だ！この金はまあ、俺様が本来は遊びで使うために、パパの実家の豊田からもらった献金じゃ叫！ハハハ笑！恐れ入ったかゼヨ！下土共がゝ叫笑！）橋本は叫んで天井に煙草の煙を吐いた。

細川（ま・まろは・・・下土ではないでおじゃるが・・・恐れ入ったぞ笑！龍太郎公笑！）

村山（ワシは・・・漁民の貧乏人の末っ子じゃった・・・恐れ入りました叫！龍太郎様！へへゝ。）村山と細川は土下座をして頭を下げた。
橋本龍太郎（はゝしししししし笑！良い眺めゼヨゝ笑。）

細川（早速！まろ達が、糟屋郡を包囲して、火をかけて攻めればよいのじゃな？）

村山（けけけけ・・・献金がワシは欲しい叫！）二人は焦りながら言った。しかし、急に橋本はにこにこしながら目を細めて話し出した。

橋本龍太郎（いやいや・・・ご両人方・・・笑。まずは、慌てるな笑。もつと・・・俺様には楽しい策があるんだ・・・笑。お前等は、俺様達が合図をしたら一気に攻めかかればよい・・・笑。合図は・・・とりあえず 携帯のメアドを交換しようか笑！）橋本は携帯を出した。細川と村山も出した。

細川（おお笑！龍太郎公！メールをもらったぞよ。ポケモンのデコ

メでピカチュウか！まろは愛らしい物が好きでおじやる　ほんに可愛いのゝ笑。）

村山（ワシはポケモンは孫が好きなんじゃ笑！ほほゝ電気鼠とはハイカラな文章じゃ笑！）

橋本龍太郎（うん　じゃあ、ホソツチとむらびーは、ぶつちやけ、俺様が携帯でメールした時に軍隊を動かしてね！約束だよ）

龍ちゃん（くちゅくちゅ・・くわゝくわゝ約束！約束！消費税増税楽しい楽しい　橋本さん大好きゝくわゝくわゝ叫！）オウムの龍ちゃんは、白い糞を橋本の肩に出してその言葉を繰り返しながら飛んだ。

細川＆村山（じゃあ！龍太郎様！糟屋郡を全滅したら、献金を頂戴ね笑！）二人は子供のような目をしながら、帰る支度をした。

橋本龍太郎（うん　勿論！約束だよ笑！）

橋本＆村山＆細川（指切りげんまん！嘔吐いたら、針千本のゝます指切った笑！）

龍ちゃん（くわゝくわゝ約束！約束！指切りくちゅくちゅ・・くわゝくわゝ）。龍ちゃんは辺りを飛んでいた。

細川＆村山（じゃあね龍太郎様！ばいばい）。二人は手をつないで無邪気な少年の瞳で帰って行った。

谷垣（うるさいアホがようやく帰りましたね・・。）谷垣は鋭い目で、外の二人を見ていた。

橋本龍太郎（まったくだ・・怒。俺様は短気なんだ・・此れでも我慢したんだぜ。）橋本は額に青筋を5本立てて、静かに怒りながら煙草を吸った。

谷垣（で・・あの二人にお菓子はあげるのですか笑？）

橋本龍太郎（ハハハ笑。誰があの阿呆共に俺様の献金なんぞ、くれてやるか怒。あいつ等は、ただ利用して捨てる使い捨てカイロだ笑。）橋本は5本目の煙草を吸った。

谷垣（其れでは・・何の為に？）

橋本龍太郎（若いな谷垣笑。細川は細川の財力を削る為、村山は社

民党の衰退度を加速するための浪費策にしか俺様は考えてねえよ笑。
）橋本は煙を吐いた。

谷垣（しかし・・・後で奴等が怒るのでは？）

橋本龍太郎（俺様は頭がキレル・・・。逆に失態をさせて、奴等を弾いてやるさ笑。）橋本は笑いながら、6本目の煙草を吸った。

谷垣（ハハハ笑。この谷垣は秘書のアルバイトをやり・・・感覚が鈍っております。）

橋本龍太郎（谷垣笑。お前に良い物をプレゼントだ。）橋本は手を二回叩いた。すると、奥の間からブラとパンツだけの綺麗な女が二人布団に横たわっていた。

谷垣（こ・此れは・・・叫！）

橋本龍太郎（政治家にやあ・・・笑。常識なんざいらねえよ。いわばヤクザの世界と一緒だ笑。此れはほんのささやかなプレゼントだ笑。俺様は自分の為なら、嘘も千回吐くし、針でも何でも千本のんでやらあ笑はゝしししししし笑。）

龍ちゃん（くわゝくわゝ！橋本さん！針を飲むんだって！針を飲むんだってくわゝ！）龍ちゃんはちよつとウザかった。

谷垣（では・・・総理。二人で体を洗いに、温泉にでもいきましようか笑。）

橋本龍太郎（おゝ笑。そうだな 温泉行こうぜ！修学旅行気分だぜ笑。）

谷垣は服を脱ぎながら思った。俺は何時か腐った壁を越えてなりあがってやると。

続

過去の過去の過去。(後書き)

感想を長めに書いてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4633y/>

YUIが悪と闘ったら 過去篇 5

2011年11月17日17時17分発行